



会長の吉田光一さんと店長の奥田百合子さん



北大路通で目をひく外観



多目的スペース。各種教室や地域の集まりなどで盛況  
写真上・下提供=株式会社フラットエージェンシー

私の焼くシフォンケーキは名物なんですよ……。『TAMARIBA』内、cafe 風良都。店長でパティシエの奥田百合子さ

# 「TAMARIBA」

の焼くシフォンケーキは名物なんですよ……。『TAMARIBA』内、cafe 風良都。店長でパティシエの奥田百合子さん。この「TAMARIBA」は、不動産会社によって運営されている。京都市北区、北大路堀川交差点近くの広い店内に、カフェ、多目的スペース、旅と住まいの相談室、

## TAMARIBA

京都市北区紫野西御所町16-2  
電話 075-431-2244 (フラットエージェンシー)  
営業時間 9:30~17:00  
日、祝日、年末年始休み

子連れでも利用可能な美容室が配置され、階上には運営会社「フラットエージェンシー」のオフィスがある。

開設のきっかけは、同社会長の吉田光一さんの体験。当時世界を放浪していた吉田さんは、イギリス滞在時、自分のような外国人の「アパート (FLAT)」探しを親身になって応援する現地住民たちと出会った。帰国後、恩返しをしたいと、1974年、24歳のとき、学生の多い京都市で不動産会社を起業。留学生の入居サポートは もちろん、近年には留学生向け就職セミナーも主催した。そして「不動産業はまちづくり業」の信条から、2014年、地域住民が気軽に住まいの相談に訪れ、かつ世代間交流のできる、コミュニティスペース「TAMARIBA」をオープンした。各種教室や地域の集まりといった利用が年々増え、コロナ前のピーク時には多目的スペースの利用が年間400件ほどになった。

街灯のない北大路通を行灯の柔らかい光で照らし、夜間も安心して歩ける試み「北大路テラス ネットワーク」をはじめ、「TAMARIBA」はさまざまなおまじゆり活動の創出拠点になっている。

編集委員 村岡正司

ボランティア・NPOをもう一歩深く 市民活動総合情報誌

# ウォロ

Volo 10・11  
No.533 2020  
http://www.osakavolo.org/valo/

〈特集〉  
ゲームで学び、ゲームで交流！

●市民活動とゲーム 勝手にゲーム紹介 楽しい優しいゲーム紹介 さかるた  
●災害に備えるゲームで防災力を高めよう  
●デジタルゲームメーカー「チャルエンジ」の今と未来 後藤 誠  
●誌上チャレンジ！ ユーザーが作成してくれたゲームを遊んでみた

〈この人は〉  
寮 美千子さん

コロナ禍における災害支援 いまこそ「参加の力」を！  
「多文化社会」のボランティアコーディネーション 東日本大震災での支援の現場から  
〈ひとみでおすすめの本〉  
アフターコロナのコミュニケーション  
04増刊  
オンライン化における障害者の参加の質 市民の自由を守る 確かな意思表示

2020.10・11  
ウォロ  
NO.533